

青森県生協連ニュース

第64号 (2018年3月)
発行：青森県生活協同組合連合会
住所：〒038-0012
青森県青森市柳川2丁目4-22
連絡先：Tel：017-766-1521
Fax：017-766-3136

～2017年度青森県生協連新春セミナー開催～

1月26日(金)青森市において新春セミナーを開催し、県内の生協役員72名が参加しました。

一般社団法人 地域再生青森会議専務理事の三上亨氏より「持続可能な地域とは何か 人口減少社会における生協の役割～地域づくりの現状から課題を考える～」と題してご講演いただき、後半では七和地区活性化協議会事務局長飛嶋献氏と平野県生協連会長も交えたトークセッションが行われ、地域課題の解決に向けて話し合われました。

会員生協の活動報告の後、12のグループに分けて「安心してらせる地域づくりに向けての生協の役割」について活発に話し合い、発表により共有を図りました。



トークセッションの場面
右より三上氏・飛嶋氏・平野会長



グループ発表をする参加者

～中路先生を迎えて、健康づくりキックオフ研修会開催！～

2018年度は「健康づくり」を本格展開していくことをめざし、1月9日青森市でキックオフ研修会を開催し、県内生協等102名の参加がありました。

弘前大学大学院社会医学講座特任教授の中路重之氏より「青森県の短命県返上対策 青森県生協連に望むこと」と題してご講演いただき、健康づくりの原則や大切なことを学びました。続いて、青森保健生協の「健康体操サポーター」と八戸医療生協の「脳イキイキ教室」の活動が報告されました。



熱く、ユーモアたっぷりご講演される中路先生

後半は15グループに分かれて、今年度より県内の生協がまとまって取り組みを開始した「健康チャレンジ」への参加を拡げるにはどうしたらよいかをにぎやかに話し合い、報告・共有しました。

*健康づくりの原則「尊敬・つながる」人と人とのつながりから、知識を学び教え合い拡げる。辛いことは続かないので、楽しく、継続できる取り組みが必要だと学んだ。



県生協連 トピックス



4団体を代表して挨拶する県生協連平野会長

J A青森中央会、県漁業協同組合連合会、県森林組合連合会、県生活協同組合連合会の4団体は、12月25日、報道機関幹部に協同組合活動の理解を深めてもらおうと青森市で意見交換会を開催しました。県内報道機関と4団体から代表者ら20名が参加し、各団体の概要などを説明後、意見交換しました。



3月2日(金)、第4回「安心してらせる地域づくりをすすめる会」を「認知症への対応」をテーマに開催しました。青森県高齢者福祉保険課瀬川氏に「県の認知症対策と課題」について、認知症の人と家族の会青森県支部代表の石戸氏に「認知症の人をとりまく環境」についてお話いただき、今後に向けての課題等について意見交換を行いました。

「食と健康」講演会（県内5か所開催）に600名



12月から2月中旬にかけて、東北女子大学と県生協連との共催で、青森市・弘前市・おいらせ町・八戸市・五所川原市の5か所で開催された「食と健康」講演会には、合わせて611名の参加がありました。開催地の自治体及び教育委員会、マスコミ各社、青森県食生活改善推進員連絡協議会のご後援をいただき、食育等の関係者の皆さんへのご案内にご協力いただきました。ありがとうございました。

八戸市公民館には177名の参加がありました。



わかりやすい科学的データにもとづいたお話とクイズや楽しい実験にあっという間の2時間でした。健康栄養学科の10名の先生方が、各会場3～4名でテーマごとにご講演下さり、「食生活を見直したい」「又是非参加したい」等の感想が沢山寄せられました。



試験紙でビタミンCが一目瞭然

ヒバクシャ国際署名：青森県連絡会全体で86,271筆。県生協連で52,866筆(3/7現在)

掲

【2018年3月以降の主な行事・会議の予定】

- 3月2日(金)第4回安心してらせる地域づくりをすすめる会
- 3月9日(金)第7回コープくらしのたすけあいの会事務局会議
- 3月11日(日)さようなら原発・核燃「3.11」青森県集会
- 3月12日(月)協同組合4団体合同研修会
- 3月15日(木)第5回理事会
- 3月16日(金)第4回職域部会
- 3月27日(火)第12回組合員活動協議会

示

版

